

株式会社 京都創薬研究所

かぶしきがいしゃ きょうとそうやくけんきゅうじょ

主力製品とその特長

KUS 剤 (Kyoto University Substances) は、細胞内 ATP を消費する蛋白質(ATPase) の一つであるVCPのATP消費を抑えて細胞の変性・死滅を予防・抑制するという新規薬理作用を持ちます。動物実験において、網膜神経節細胞・視神経線維に保護的に作用し、緑内障の進行を抑制する効果があることが確認されました。緑内障は世界の視覚障害要因第1位の原因疾患で、現在は眼圧を下げる薬物療法と手術が唯一の治療法ですが、新しいメカニズムで薬効が期待できるKUS剤は、アンメット・メディカルニーズを解決する新規治療薬として、さらには他の網膜疾患や眼科以外の様々な変性疾患などへの応用が期待できます。

会社情報 <http://www.kyoto-drug.com>

連絡先

メールアドレス ▶ info@kyoto-drug.com
電話番号 ▶ 075-761-2361
担当者名 ▶ 上田克司

創業年 平成27年(2015)
資本金 90百万円
従業員数 7人(2017.12.1現在)
本社所在地 京都市左京区吉田本町36-1
国立大学法人京都大学
国際科学イノベーション棟211

会社からのメッセージ

私達、京都創薬研究所のメンバーは、難治性疾患の治療薬を開発して世の中に提供する、という強い情熱を持って、研究開発を担う製薬メーカーとしての社会的責任を常に念頭に置き、社会に対して、アカデミアに対して、医療界に対しての感謝の念を持って、真摯に研究開発に取り組みます。

共同研究先

- 国立大学法人京都大学